令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 7年 1月15日

学校法人頭陀寺学園 若林こどもの園

参加者：他園施設長、元幼稚園教諭、臨床発達心理士、保護者代表、園長、副園長

1. 本園の教育目標

明るく たくましく 賢く 感性豊かな子の育成

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ①コスト意識
- ②行動の整理
- ③虐待について

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	SDGsの観点から、コスト意識を常に持ち節約（節水・節電など）に努めているか。また、業務（記録・書類作成や準備作業など）の効率化に努めているか。	B	各自、与えられている時間内に工夫して業務を行う気運が高まった。それに伴い無駄を洗い出し、改善に繋げている。
2	1日の業務開始時に、その日にすべきことを把握して、実行しようと努めているか。	A	全員が出勤したら、必ず全体シフトと動きの確認をすることで、効率よく連携して業務にあたることができた。
3	虐待の種類や対応手順を理解しているか？また、不適切な発言・行動をしないようにしているか。	B	園内研修において虐待対応を学んだ。また、職員一人一人、自分の心を見つめる時間を取った。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	協働意識が高まり、互いに声を掛け合う姿が増えている。それにより、業務の効率化や不適切な発言・行動への抑止に結びつけることができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	理念・方針について	園の教育理念、方針、目標（めざす子ども像、教職員像）の理解に努めているか。
2	新しい考えの受容	新しい考え方や方法を、前向き・積極的に受け止める姿勢を持つよう、努力しているか。
3	整理整頓	与えられた範囲だけでなく、共用部分についても、積極的に整理整頓をするとともに、使用した物は、元の（定められた）場所に必ず戻しているか。

6. 学校関係者評価委員会の評価

評価	
B	時代に合った働き方を考え実践している。見える化により、それぞれの動きの把握ができ、協同体制に繋がっている。年度ごとの職員の異動等があり、不安を感じることはあったが、職員同士の連携を見ることができ安心感に繋がった。行事等については創意工夫がされていて、親子で楽しむことができた。